

やすらぎ

京都市立病院
広報誌

2015

春



京都市立植物園(左京区)

病院の整備が完了しました!

- ◆ 新院長のごあいさつ
- ◆ 当院のがん治療
消化管がんの内視鏡治療 / 乳がん診療とチーム医療
- ◆ 健診センターのご案内 ◆ 頭痛を学ぼう
- ◆ 花粉症のおはなし



地方独立行政法人京都市立病院機構
京都市立病院

新院長のごあいさつ

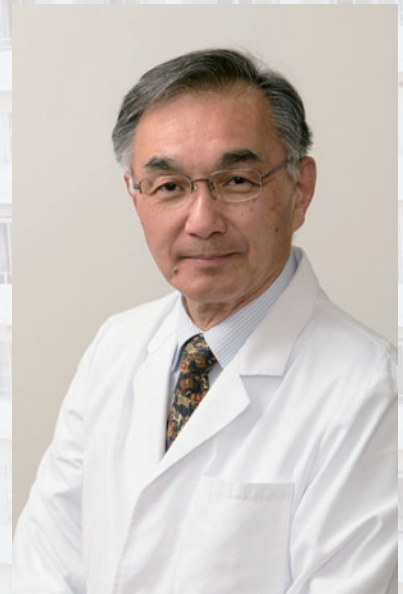
この度、第15代目の院長を拝命しました森本泰介です。

永きにわたって市民の皆さんの命と健康を守ってきた京都市立病院の名を汚さぬよう、全力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

当院は、この春、平成22年からの病院整備事業が完了しました。北館の建替えや本館改修、患者さんに深い安らぎを提供する緑あふれる庭園の整備、院内保育所の建替え、そして、救急・災害医療支援センターの建設などを無事終えることができました。市民の皆さんには、是非、装いを新たにされた病院の姿をご覧いただきたいと思います。

本年12月、当院は創立50周年を迎えます。今年度は電子カルテシステムを含む総合情報システムの更新やドクターヘリの受け入れなど、市民の皆様のご期待にお応えする様々な取組に挑戦いたします。

心新たに更に職員一丸となってがんばることをお約束して、新任院長としてのご挨拶とさせていただきます。



京都市立病院
院長 森本泰介

病院の整備が完了しました!

当院では、平成22年1月から病院整備を行っていましたが、平成27年3月、ついにすべての整備が完了しました。

新館をオープンし、救急室や手術室、集中治療室の拡充、ヘリポートの設置など病院の機能を大きく充実、政策医療を担う自治体病院の基盤を整えました。



手術支援ロボット
ダヴィンチも導入
しました。

平成25年3月
新館(北館)オープン

救急・災害医療支援センター

救急・災害医療に携わる人材育成のための研修などを行う施設で、災害時には救急隊員が待機できる宿舎機能も備えています。

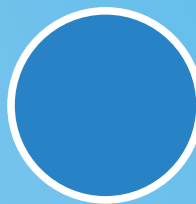


庭園

患者さんや地域の方の憩いの庭園。リハビリ空間としての機能も備えています。



庭園完成



平成27年3月
整備事業完了

平成27年1月

救急・災害医療支援センター、
院内保育所、北駐車場完成

院内保育所

保育スペースを大きく拡充。平成27年4月からは、地域のお子様(0歳～2歳)も受け入れています。



北駐車場

59台分の来院者用駐車場。南駐車場と合わせて計218台が駐車可能になりました。



消化管がんの内視鏡治療

消化器内科部長(副統括診療部長兼職) 吉波 尚美

消化管のがんは、日本人のがん死亡原因の第2位である「胃がん」、食生活の欧米化などにより増加しつつある「大腸がん」、アルコールや喫煙と大きな関わりのある「食道がん」などがあります。

検診を受診される方が増えていることや医療機器が進歩したことにより、がんが早期に発見されることが多くなってきました。早期のがんであれば、内視鏡治療での治癒が期待できます。

内視鏡治療とは、内視鏡により映し出される映像をもとに、内視鏡を通した器具を用いて行うもので、従来の外科手術と比べて身体への負担がより小さく、およそ1時間程度で終わります(がんの大きさにより時間は異なります)。さらに、入院は約1週間で済み、治療後、順調であれば、治療翌日からの食事も可能です。

以前の消化管がんの一般的な内視鏡治療であったEMR(内視鏡的粘膜切除術)という方法は、1回に切除できるがんの大きさが限られており、治療後に再発することもありました。しかし、ESD(内視鏡的粘

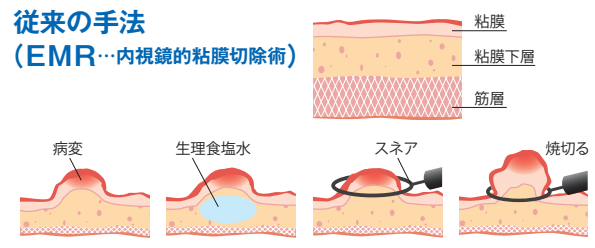


膜下層剥離術)という方法が考案され、がんの大きさに制限なく切除することができるようになりました。内視鏡治療が適用される範囲が広がり、これまでは外科手術で治療していたがんが、内視鏡治療で治癒を目指すことが可能になりました。

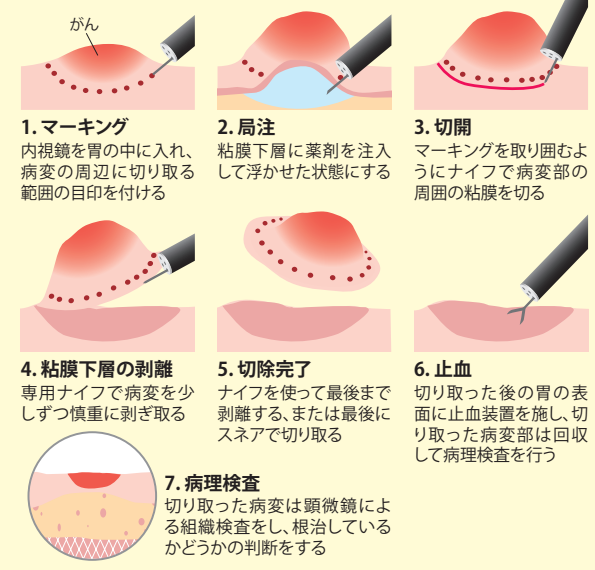


当院では、平成18年からESDの内視鏡治療を行っています。これまでに胃 約320例、大腸 約120例、食道 約40例の実績があり、近年増加傾向です。がんの広がりや患者さん一人一人の状態に合わせて、安全で身体に負担の少ない治療を心掛けています。

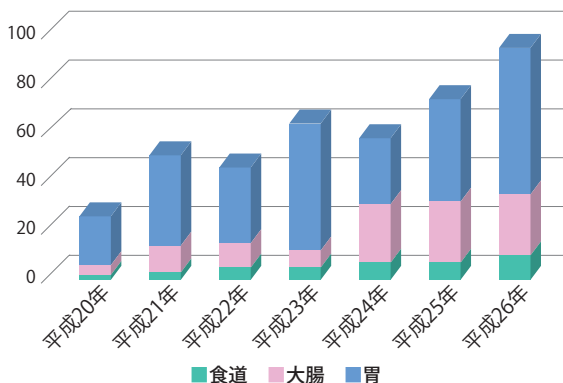
従来手法 (EMR…内視鏡的粘膜切除術)



ESD



ESD症例数



乳がん診療とチーム医療

乳腺外科部長 森口 喜生
(写真 真ん中)

乳がんは女性の「がん」の中では最も多く、23%を占めると言われています。しかし、早期の発見、適切な治療によって、乳がんになっても治る方もたくさんおられます。乳がん検診はもちろんですが、気になることがあればすぐ乳腺外科を受診してください。

乳腺外科では、『科学的根拠に基づいた医療、患者様に優しい診療』を基本方針としており、部長（日本乳癌学会乳腺専門医、日本乳癌学会評議員）と女性医師2名の計3人の体制で診療を行っています。

乳がんは、検超音波検査やマンモグラフィ、乳房MRI検査などの「画像検査」と、しこりなど病変の細胞や組織を針で採取して顕微鏡で調べる「病理検査」で診断します。治療は、外科療法、薬物療法、放射線療法があります。これらの治療を組み合わせ、最適な治療方法を患者さんに提案し、患者さんのご意見や価値観を伺った上で治療方針を決定します。また、乳がんの手術で失った乳房を再建する手術も積極的に行っており、近年増加しています。



さて、皆さんは「チーム医療」という言葉をご存知でしょうか。担当医だけではなく多くの職種の専門家が一つのチームとして患者さんの診療に関わっていくのが「チーム医療」です。当院では「乳腺外科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、形成外科の医師、乳がん看護認定看護師、がん放射線療法看護認定看護師、がん看護専門看護師、病棟看護師、薬剤師、医療社会福祉士」など多くの職種の専門家が、「一人ひとりの患者さんを支えるチーム」となり、患者さんを支えます。また「ビスケットの会(乳がん患者会)」の活動も行っています。乳がんのことでご心配があれば、一人で悩まずにどうぞ乳腺外科にご相談ください。私たちがお力になります。



健診センターのご案内

健診センターではがんや脳血管障害、心臓病、肝臓病、生活習慣病などを発病前に発見し、予防することをモットーに、人間ドック、脳ドック、PET-CT健診、生活習慣病予防健診（協会けんぽ）のほか、肺がんドック（胸部CT）、骨密度検査、乳がん検査、婦人科検査等の多くのオプション検査を取り揃えております。ご希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい。



健診センター ▶ TEL: 075-311-6344（平日午前9時～午後5時）

4～5月に全額自己負担で受診の方は、料金の割引も行っています。

協会けんぽにご加入の方で人間ドックをご希望の方は、協会けんぽの助成金が受けられるようになりました。

利用できる協会けんぽの健診の種類	人間ドックコースの料金		受診者負担額	
一般健診 (35歳～74歳の本人)	基本料金	42,250円 (税込)	助成金 11,484円で	30,766円 (税込)
付加健診 (一般健診を受診する 40歳、50歳の方)	基本料金	42,250円 (税込)	助成金 16,198円で	26,052円 (税込)

※健診内容や料金など、詳しくは健診センターにお問い合わせください。

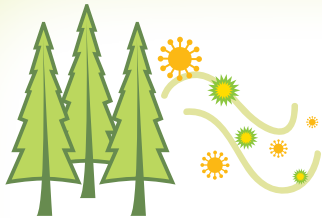
京都市立病院 出前講座 ～頭痛を学ぼう～

平成27年3月17日、本能老人ホームで開催された「ロコモ予防講座」にて、当院の中谷医師（神経内科）が「頭痛」についてお話ししました。

頭痛といっても、症状、原因、治療はさまざまです。頻度や部位などから頭痛のタイプを診断し、適切な治療を行うことが大切です。さらに、お薬が原因となることもあるので、頭痛でお悩みの方は、医療機関を受診してみてください。



ロコモ予防講座の様子



花粉症のおはなし



寒さもゆるみ、暖かな春の日差しに木々の芽も膨らみ始めました。この季節、気になるのが花粉症。いまや4人に1人がこの病気に悩まされているとも言われています。スギのピークは過ぎつつありますが、ヒノキやイネ、ブタクサなどこれからも飛散し、しばらく悩みはつきません。今回は、花粉症の治療や家庭でできるセルフケアについてお話します。

🌞 歴史

一番古い記述としては諸説ありますが、そのひとつにヒポクラテス（紀元前460～370年頃）の著書に登場しています。風土病が花粉症であったのではともいわれています。また、ローマ帝国時代のガレヌス医師（紀元前200～130年頃）が花粉症の疾患について述べています。

🌞 メカニズム

体は異物（抗原）が侵入すると、これに反応する物質（IgE抗体）を作ります。花粉から溶け出した抗原が、鼻の粘膜にある細胞にあるIgE抗体と結合すると、細胞から化学物質が分泌されます。これが、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみなどの症状を引き起こします。

🌞 薬物治療

使用する時期や症状に応じて、①初期療法、②導入療法、③維持療法があります。

① 初期療法

花粉が飛び始める1～2週間前からアレルギー性鼻炎治療薬を服用します。発症を遅らせ、症状を軽減し、薬の量や回数を少なくする効果があります。

➡ **早めの対策が重要です！**

② 導入療法

症状が強くなってから行う治療法です。第二世代抗ヒスタミン薬に加え、経口ステロイド薬の一時的な服用や、局所的なステロイド点鼻薬を使用します。

③ 維持療法

初期療法や導入療法で抑えた症状を維持するための治療です。アレルギー性鼻炎治療薬やステロイド点鼻薬を使用します。

➡ **症状が軽くなってからも花粉の飛散中は薬の服用を続けましょう！**

🌞 セルフケア

花粉症予防は、花粉を遠ざけるような生活を心がけることが必要です。

- ◆ 外に干した洗濯物は花粉をよく落とす
- ◆ 規則正しい生活を心がけ、ストレスをためない
- ◆ マスクや眼鏡を着用する
- ◆ ウール素材などの上着やコートは控える



看護の日イベント
「老いとともに
元気に生きる」

運動指導、栄養指導(ロコモ予防)、栄養相談、骨密度測定、健康相談、神経内科藤竹医師による「認知症の正しい理解」の講義など。

●日時 5月15日(金) 午前9時30分～午後2時 ●場所 北館7階ホール1

健康教室「かがやき」

「健康はつくるもの」です。一人ひとりが健康づくりに取り組み健康に過ごしていただけるように、健康づくりを応援する当院各科講師による健康教室を開催します。

- 日時 毎月第3金曜日 午後2時30分～3時30分
- 場所 北館7階ホール2
- 定員 先着順50名(予約不要)

5月15日(金)

『最近の肺がん治療～集学的治療ってなんだろう?』

6月19日(金)

『症状から考えるのどの病気』

禁煙教室 ～吸う人も吸わない人も知って得するタバコの不思議～

タバコ煙の成分やニコチン依存症のしくみ、タバコによる健康被害、禁煙のコツなど、様々な視点から話をします。禁煙希望者には医師などが具体的なアドバイスを行うほか、その場で当院の禁煙外来を予約することができます。

- 日時 毎月第2・4金曜日 午後2時～午後3時
- 場所 北館7階ホール2
- 対象 京都市立病院に入院や通院している方に限らず、禁煙に興味のある方ならどなたでも

糖尿病教室

糖尿病は、療養を怠ると数多くの恐ろしい合併症が現れる反面、適切な治療を続けていけば、健康な人と変わることなく生活することができます。糖尿病についての正しい知識を持って、糖尿病と向き合っていきましょう。

- 日時 毎月第2木曜日 午後3時～午後4時
- 場所 北館7階ホール2

5月14日(木) 『食事療養こそ最高の特効薬です』

『運動でからだも心も軽やかに』

6月11日(木) 『知っておきたい薬の知識～飲み薬～』

『日常生活の心得
～こんな時どうしていますか?』

がん患者・家族のサロン「みぶなの会」

がんで療養中の患者さんとそのご家族の集まりです。患者さん同士で、色々な悩みをお話したり、情報交換ができます。人と話をしたり、話を聞くだけでも、気持ちが軽くなるものです。気軽な気持ちでご参加ください。

- 日時 毎月第3水曜日 午後1時30分～午後3時30分
毎月第4水曜日 午前10時～午後3時
- 場所 北館7階サロン
- 対象 がん患者及びその家族

学習会

日時：奇数月の第3水曜日
午後3時～3時30分
場所：北館7階ホール

5月20日(水) 『抗がん剤治療のケア』

編集後記

新年度がスタートし、新しい環境での生活を始められた方も多いのではないのでしょうか。さて、当院でも病院長が前任の内藤院長から森本院長へバトンタッチされました。今後は森本新院長体制の下、さらに職員一丸となって取り組む所存でございますので、新体制となった京都市立病院を今後ともよろしくお願い申し上げます。

やすらぎ 2015・春号 2015年4月22日発行

発行：京都市立病院機構 京都市立病院
 〒604-8845
 京都市中京区壬生東高田町1番地の2
 TEL 075-311-5311 FAX 075-321-6025

京都市立病院

〒604-8845
 京都市中京区壬生東高田町1番地の2
 TEL 075-311-5311(代)
 FAX 075-321-6025(代)
<http://www.kch-org.jp/>



京都市立京北病院

〒601-0533
 京都市右京区京北下中町鳥谷3番地
 TEL 075-854-0221(代)
 FAX 075-854-0825(代)
<http://www.kch-org.jp/keihoku/>

